



にしきの つうしん

錦乃通信

Mamiya J.H.S. School News

令和7年12月1日（月）

さいたま市立馬宮中学校

令和7年度 第8号

学校教育目標

未来を拓け ～自己の創造・生きる自信～

SINCE 1947

School Education Goal

Open your Future ～Self Creation ・ Confidence to live～

今年を振り返り、新年へつなぐ冬

校長 衛 藤 伸 介

師走の風が頬を撫でる季節となりました。朝の空気は凜と澄み渡り、校庭の木々はすっかり葉を落とし、朝夕には冬の静けさが学校全体を包み込んでいます。登校してくる生徒たちの吐く白い息、教室に差し込む柔らかな冬の日差し——それらすべてが、今年も終わりに近づいていることを静かに教えてくれます。

今年も残すところあと1か月。4月に新しい学年が始まり、希望と緊張の入り混じった表情で登校してきた生徒たちが、今ではすっかり学校生活に馴染み、頼もしい姿を見せてくれています。振り返れば、体育祭、修学旅行や校外学習、合唱コンクールなど、数々の行事を通して、生徒一人ひとりが多くの経験を積み重ねてきました。

さて、12月は「まとめ」と「準備」の月です。2学期の学習を振り返り、自分の成長を見つめ直すとともに、3学期や次の学年に向けての目標を立てる時期でもあります。学力だけでなく、生活面や人間関係においても、自分自身を振り返ることで、よりよい未来への一歩を踏み出すことができます。

また、年末年始は家族と過ごす時間が増える時期です。3年生にとっては、進路実現に向けていよいよ大詰めを迎えますが、忙しい日々の中でも家族との時間を大切に、感謝の気持ちを言葉にして伝えることは、心の成長にもつながります。家族の温もりの中で過ごす時間は、生徒たちにとって安心と安定をもたらす、挑戦への力となることでしょう。

保護者や地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に深い御理解と温かな御支援を賜り、心より感謝申し上げます。生徒たちが安心して学び、のびのびと成長できるのは、保護者や地域の皆様の支えがあってこそです。学校と家庭・地域が手を取り合い、子どもたちの未来を共に育んでいくことの大切さを、改めて感じております。

私たち教職員一同は、これからも生徒一人ひとりの可能性を信じ、寄り添い、支えてまいります。そして、生徒たちが自分らしく輝けるよう、学びの場をより豊かにしていく努力を続けてまいります。

寒さ厳しき折、皆さまにおかれましてはどうぞ御自愛いただき、穏やかで心温まる年末年始をお過ごしください。そして、新しい年が皆さまにとって希望に満ちた素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。